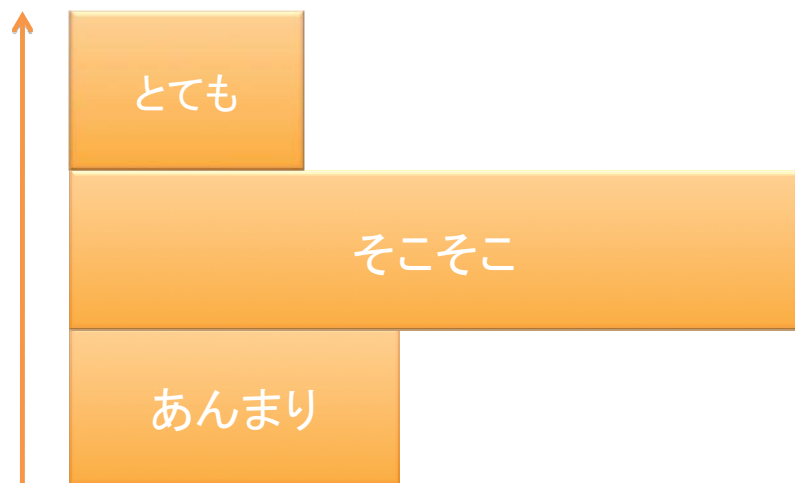


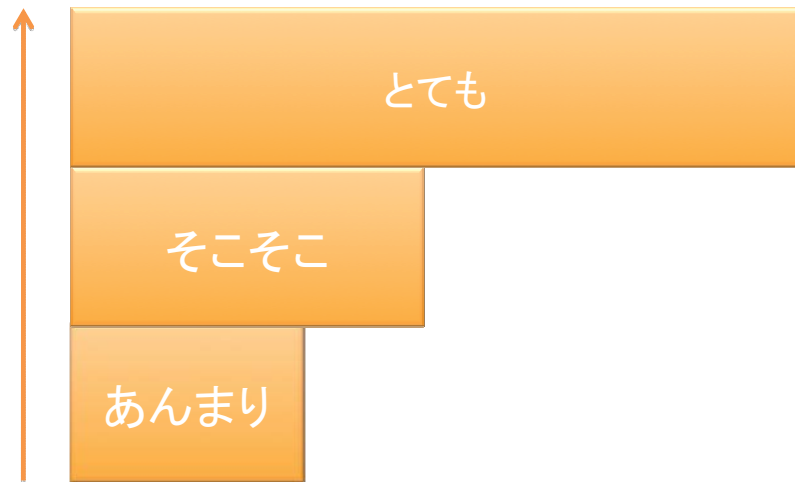
迷える学生の発見と支援



学生のモチベーション



## 理想状態



## 問題点

- 職員
  - モチベーションが低い学生を見分けられない
  - 目の前の学生に関する情報がない
- 学生
  - 自分がモチベーションが低いかわからない
  - 目標持てない
  - 目標を持つための材料ない
  - 具体的な目標が持ててない
- 教員
  - 過去の事例がわからない
  - 自分の担当学生以外わからない

## 問題点

- 職員
  - モチベーションが低い学生を見分けられない
  - 目の前の学生に関する情報がない
- 学生
  - 自分がモチベーションが低いかどうかわからない
  - 目標持てない
  - 目標を持つための材料ない
  - 具体的な目標が持ててない
- 教員
  - 過去の事例がわからない
  - 自分の担当学生以外わからない

## 解決策

- 学生の情報をためる
- 学生の情報を必要な形で必要な人に提供する

## 問題点

- 職員
  - モチベーションが低い学生を見分けられない
  - 目の前の学生に関する情報がない
- 学生
  - 自分がモチベーションが低いかどうかわからない
  - 目標持てない
  - 目標を持つための材料ない
  - 具体的な目標が持ててない
- 教員
  - 過去の事例がわからない
  - 自分の担当学生以外わからない

## 解決策

- 学生の情報をためる
- 学生の情報を必要な形で必要な人に提供する

訴求したいところに訴求できない

# 今必要とされる仕組み



# 今必要とされる仕組み



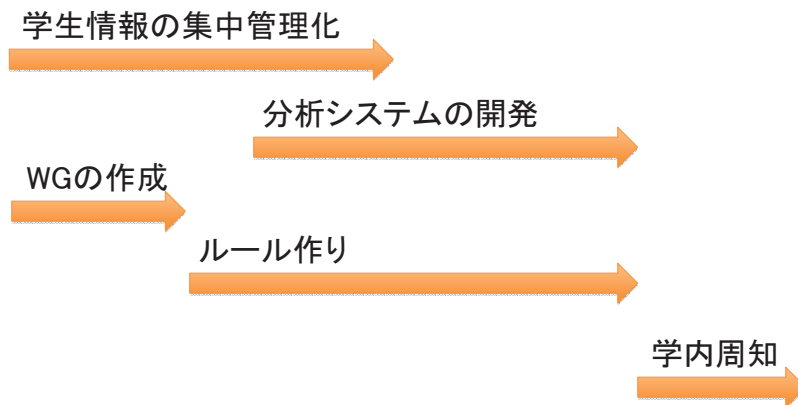
## 発見方法

- データ分析を利用
  - モチベーションが低い人のデータを収集
  - 特徴を抽出
  - 特徴にマッチした学生を「モチベーションが低い人かもしれない候補にする
- コンピュータを利用

## 見つけた後

- コンピュータシステムでの対処には限界
- 人と人
  - 呼び出して面談
  - 指導教官へ連絡
  - サークルの代表へ連絡
  - などなど
- 人手をかけてケア

## アクションプラン (運用開始まで)



## 運用開始後

- 定期的な振り返りが必要
  - 分析結果の妥当性
  - 効果の測定
- 振り返りをして
  - 効果があった→継続
  - 効果が薄い→見直し

## 効果測定の方法

- 離学率の変化
- 出席率の変化
- 成績への影響
  
- フォローアップ面接

## まとめ

- モチベーション
  - 持っていない学生
  - 見失いかけている学生
- 人と人とのコミュニケーション
  - コンピュータシステムでの限界
  - 人件費をかけるだけの価値はある
- モチベーション高く過ごせた実感
  - この大学に来てよかった！